第116号

ふれあい

一関市室根市民センターだより


神輿先着争い


舞姫舞奉納

写真提供：遠藤凌平氏

1308年の伝統が息づく 室根神社特別大祭

10月23日㈭から25日㈯までの3日間、室根神社特別大祭が開催されました。

室根神社特別大祭は、養老2年（718年）、紀州熊野本宮から熊野神を勧請され、その後始まったと伝えられ、1308年以上の歴史を誇る伝統行事です。長い年月を経てもなお、地域の人々によって大切に受け継がれてきた祭りです。

２日目の24日には、協賛行事として、「第17回室根大祭登山マラソン」が開催され、ちびっ子から一般まで多くのランナーが室根山等で健脚を競いました。また、同日には「第10回創作太鼓フェスティバル」も開催され、県内外から13団体が出演。迫力ある演奏が響き渡り観客を魅了しました。

祭りのクライマックスとなる25日には、未明から荒馬の町内行進が始まり、発輿式を経て神輿が室根神社を出発。荒馬や御神馬、大先司などの行列が続き、神輿渡御が行われました。神輿を担ぐ陸尺の勇壮な姿や神輿先着争い、馬場巡りなど、室根神社特別大祭ならではの見どころが繰り広げられ、沿道には多くの観客が詰めかけました。

３日間にわたり、伝統の神事と多彩な協賛行事でにぎわった室根神社特別大祭。祭りを支える関係者や地域の人々の熱意、そして世代を超えて受け継がれる伝統の力が、室根のまちを大いに盛り上げました。

地域の誇りであるこの祭りを大切に次の世代へとつないでいきたいものです。

親子で元気に！ サッカー教室


親子で手をつなぎ走りました


親子でドリブル



10月3日㈯、室根こども園において、家庭教育学級「親子サッカー教室」を開催しました。

当日は、サッカーボールを使って、蹴ったり、触れたり、追いかけたりと、親子でさまざまなボール遊びに挑戦しました。子どもたちは、保護者と一緒にボールを追いかけながら、体を動かす楽しさを感じ、元気いっぱいに活動していました。

今回の教室は、身近な運動遊びとして親子でサッカーに親しみ、幼児期からボールを使った体の動かし方や楽しみ方を知ってもらうことを目的に実施しました。また、親子で一緒に汗を流すことでふれあいやコミュニケーションを深めるとともに子どもの運動機能の発達や安全に楽しく遊ぶための知識を学ぶ機会にもなりました。

親子で同じ遊びを楽しみ笑顔や歓声があふれる時間となり、日頃の生活の中でも気軽に体を動かすきっかけづくりにつながる、有意義な教室となりました。

男の料理に腕を振う 男の料理教室



真剣な眼差しで学び中

11月16日㈪室根市民センターを会場に男の料理教室「俺にだってできる『家庭料理』」を開催しました。

第1弾となる今回は、「お手軽にできる本格ラーメン&チャーハン講座」と題し、麺家たか志店主で室根町出身の千葉隆志さんを講師に迎え、家庭でも手軽に作れるラーメンとチャーハンに挑戦しました。

ラーメン作りでは、伸びにくい市販の麺の選び方、具材の切り方や盛り付けポイントなどを教わり、スープには市販の鍋用スープを活用し、身近な材料で本格的な味に仕上げる工夫を学びました。

チャーハン作りでは、ご飯と具材を使った調理のポイントを教わり、パラッとおいしく仕上げるコツを実践。参加者は講師のアドバイスを受けながら、手際よく調理を進めていました。

それぞれ完成した料理を味わい、参加者からは料理の楽しさや手軽さを実感する様子が見られました。身近な食材や市販品を活用し、家庭でも気軽に本格的な料理を楽しめることを学ぶ機会となりました。

行事予定

※26日～翌月25日までの予定を掲載しています。
都合により予定の行事が変更・中止となることがございます。

月	日	行事内容	場所	時間
11月	27(金)	室愉会　卓上ゲームカフェ交流会	室根市民センター	18:00～21:00
	30(月)	健康増進グループ　百歳体操	室根市民センター	10:00～12:00
12月	5(土)	蜜蝋ろうそく作りワークショップ(釘子対象)	15地区会館	10:00～11:30
	6(日)	14区女性学級「お正月飾り作り教室」	佐野地区会館	10:00～12:00
	7(月)	健康増進グループ　百歳体操	室根市民センター	10:00～12:00
	10(木)	室根まちづくり協議会・自治会連合会　視察研修	宮城県大崎市	8:15～17:00
	12(土)	正月飾り寄せ植え教室	室根市民センター	14:00～15:30
	14(月)	健康増進グループ　百歳体操	室根市民センター	10:00～12:00
	15(火)	健康教室～みんなで楽しく軽体操～	室根市民センター	10:00～12:00
	19(土)	蜜蝋ろうそく作りワークショップ(津谷川対象)	津谷川地区交流センター	10:00～11:30
	21(月)	健康増進グループ　百歳体操	室根市民センター	10:00～12:00

編集/発行：一関市室根市民センター
〒029-1201
岩手県一関市室根町折壁字大里201-1
TEL:0191-64-2347／FAX:0191-64-3044
E-mail：mmachikyo-kt@tiara.ocn.ne.jp

【編集後記】
２年ぶりの開催となった室根大祭。地域の伝統や人々の熱意に触れ、改めて室根のよさを感じる機会となりました。芸術や文化に親しむ秋も深まり、忙しい毎日の中にも、地域の魅力を大切にしていきたいと感じています。（T.S）

地産業と文化・芸術に触れる2日間
第22回一関市むろね産業文化祭

11月7日㈯、8日㈰の2日間、室根きらめきパークを会場に、第22回一関市むろね産業文化祭が開催されました。

屋内テニスコートでは、園児や児童生徒の作品をはじめ、芸術文化発表会やシルバー・室根孝養会の作品展示など、広い年代による作品が展示されました。

また、室根町出身の書家・小山峨邑氏の特別展や秋の山野草展も開催され、来場者は地域の芸術や文化に触れ、趣向を凝らした作品を楽しんでいました。

体育館内では、農産物品評会や異文化交流展、消防・防災コーナーが設けられたほか、地域や友好交流都市の物産販売などで会場は多くの人で賑わいました。

2日目には、体育館ステージで「むろね芸能発表会」と「民俗芸能発表会」が開催されました。むろね芸能発表会では、地域の団体が舞踊などを披露しました。また、民俗芸能発表会では、ベトナムやネパールの舞踊など、海外の芸能が披露され、異文化の伝統に触れながら、国境を越えた交流を楽しみました。

このほか、eスポーツ体験会やロボット体験教室、ダンボール太鼓づくり、レクリエーショングッズ体験など、体験コーナーも設けられ、来場者はさまざまな催しを楽しんでいました。

2日間にわたり開催された産業文化祭は、地域で育まれてきた産業や伝統文化、芸術活動に加え、異文化との交流や新たな体験を通じて、地域の魅力を再発見する機会となりました。



小中学校
作品展



むろね芸能発表会



小山峨邑氏
書道特別展



芸術文化発表の風景

学びと体験で広がる、楽しみの輪 《女性学級》

多肉植物で癒やしの時間 4区女性学級

4区女性学級では、10月30日㈮に移動研修を実施しました。

今回は、雫石町にある「花工房ら倶楽部」を訪れ、多肉植物の寄せ植えづくりを体験しました。植物の特徴や組み合わせを楽しみ、オリジナル作品づくりに挑戦しました。

また、道の駅などで地域ならではの特産品や魅力に触れながら、見聞を広めました。

植物に親しみ参加者の会話も弾み和やかな一日となりました。


多肉植物寄せ植え教室
4区女性学級

思いを形に 陶芸体験 上津谷川女性学級

上津谷川女性学級では、8月23日㈫陶芸教室が開催され、参加者は皿やカップ、大鉢、花瓶などの制作に挑戦しました。参加者のほとんどが初心者でしたが先生から丁寧に指導を受け、完成をイメージしながら作業を進めました。

参加者からは「難しいけど楽しかった」などの声が聞かれ、ものづくりの楽しさを味わう充実した時間となりました。


陶芸教室
上津谷川女性学級

岩手の技と伝統に触れる 20区女性学級

20区女性学級では、10月17日㈯に移動研修を実施しました。

今回は「いわてのものづくりを学ぶ」をテーマに、岩手ヤクルト工場と奥州市伝統産業会館を訪問しました。

岩手ヤクルト工場では工程や品質管理について説明を受け、何気なく口にする製品がどのように作られるかを学びました。また、奥州市伝統産業会館では、岩谷堂箪笥などの工芸品について見学、技術や受け継がれてきた歴史に触れ、伝統文化への理解を深めることができました。


ものづくりを学ぶ移動研修
20区女性学級

粘土で彩る花づくり 15区女性学級

15区女性学級では10月18日㈫にクレイフラワー製作教室を開催しました。

講師の菊池香さんから指導を受けながら、粘土を使って花びら一枚一枚を丁寧に形づくり、華やかなクレイフラワー作品に仕上げました。細かな作業に集中しながらも、参加者同士で会話を楽しみ、和やかな雰囲気の中で制作に取り組みました。

午後は昼食をとりながらフリータイムも設けられ、参加者にとって交流を深める楽しい一日となりました。


クレイフラワー製作教室
15区女性学級

文芸（短歌・俳句・川柳）

9月26日～10月25日投句

短歌 ～佐藤 知男 選～

熊本は地震に豪雨猛暑まで
　生きてる心地しないだろうな
台風と秋雨前線このダブル
　雨が恐ろし日本列島
　　矢越　加藤　光春

ひと欠けの雲置き空は高々と
　狭庭（さにわ）うるおし杜鵑草（ホトトギス）咲く
段々の稲架（はざ）を望める小山田に
　黄金の夕日が淡く落ちゆく
　　矢越　小山　冨子

日は暮れて神社（おみや）に着きし五才の児
　祖母の背中で一夜を明かす
鬼の岩屋に着くまでに湯治場は
　遠まわり落葉松（からまつ）林はすべりみち
　　折壁　西　民

秋の夜私の好きな歌と映画
　想い起こして感慨にふける
昭和にも平成の世にも戻れぬが
　時と言うもの日々巡り行く
　　津谷川　佐藤　可奈

《選者詠》
やがて来る終はりの命あたためて
　蝶眠りをり日だまりのなか
林間に小鳥の群れの声はして
　ひと日始まる霧深き朝

俳句 ～村上 群青 選～

夕焼けや最後の通草摘みにけり
髪切って小春の光吸いにけり
　　折壁　雷　風

逝く人を忍び泣きして秋彼岸
被災の地夏に助かるボランティア
遅れ田を阿修羅の如く稲刈りす
　　矢越　加藤　光春

葉影ゆれ啄木鳥啄む三拍子
栗拾い毬よりこぼる粒二つ
　　折壁　草村　山葵

見渡せば稲刈り終えて祭り待つ
地区行事協力出来ず秋悲し
車中から見なれた景色秋の色
　　折壁　小山　するゑ

米価安農夫なげいて案山子とも
すすきの穂風に向かいておじぎする
　　矢越　飛　役

《選者詠》
霜月や残る神馬の蹄跡

川柳 ～内田 正好 選～

ゲリラ雨イベント襲い降参だ
さつま芋秋の実りが猪に
　　矢越　尾山　与太郎

鳴り響く室根の夜に太鼓の音
　　折壁　昭和　小葉

英語では習うより慣れ多読良し
他人事と熊本地震思えない
図書館は宝の山だ本と言う
　　矢越　加藤　光春

落葉樹染まりゆくのがうれしい秋
すず虫のかなでる音で節感じ
くるくると表情かわる秋の雲
　　津谷川　佐藤　可奈

小さな苗土に託して玉育つ
大祭や陸尺までも人手難
　　折壁　走　男公

《選者吟》
免許証半日がかりで見つけたぞ

「ふれあい」文芸コーナーでは、投稿作品を募集しています。**毎月25日が締切り**となっておりますので、郵送もしくは室根市民センターへ直接お持ちください。

選者による添削ののち、選ばれた句が**翌号に掲載**となります。【例：12/25締切分→2/1発行号掲載】

皆さんの投稿をお待ちしております！